

No. **351**
AUTUMN 2025

YASKAWA NEWSは
お客さまと安川電機を結ぶPR情報誌です。

YASKAWA NEWS

特集1
p2

YASKAWA システムインテグレーション パートナー

特集2
p4

スクールのご案内

p8 新製品

MOTOMAN-GP280L/GP360を発売
ACサーボドライブΣ-Xシリーズ FT79仕様を発売

p10 トピックス

MECHATROLINK協会 2025年度総会開催報告

p11 展示会

「FOOMA JAPAN 2025」出展報告
「未来づくりロボットWeek」出展報告

p13 コラム

陸上部NEWS

YASKAWA システムインテグレーション パートナー

お客さまの機械・設備を自動化する
ロボット、モーションシステム構築のエキスパート、
SI(システムインテグレータ)が集う
二つのSIパートナー会をご紹介します。

当社の製品を活用いただくため、提案・開発・設計・教育など、
製品の導入から運用まで様々なシーンでご相談いただけます。

提案・販売

実績豊富なSIパートナーがご提案に伺います。当社
製品だけでなく、パートナーの製品を含めたソリュー
ション提案で、お客さまの課題を解決します。

- ・導入相談、ヒアリング
- ・各種ソリューションの提案
- ・デモンストレーションによる製品説明
- ・見積、販売

システム導入・構築サポート

お客さまの生産設備、装置開発を支援いたします。

- ・ロボットシステムの導入
- ・社内設備の構築

SIパートナーのサービス内容

様々な業界、工程、モーションに精通したSIパート
ナーが、そのノウハウを生かしてお客さまに最適な
制御アプリを設計、開発いたします。

- ・モーション制御アプリの開発

制御アプリ開発

古くなった電機品や生産設備の置換えや運用方法を
ご提案します。またオンサイトでの研修・トレーニング
もお客さまのご利用状況やご要望に合わせて個別に
承ります。

- ・既存設備の更新
- ・オンサイトでの研修・
トレーニング

運用支援

MOTOMAN会 SI部会

MOTOMAN会 SI部会は2016年にディーラ部会と
ともにMOTOMAN会内の組織として設立されました。

会員は法人であるSI(システムインテグレータ)で、
当社ロボットを組み合わせたシステムの設計・製作および
納入に協力いただくパートナーとして入会いただいで
います。会員数は2016年に38社からスタートしましたが、
現在は147社まで増えています。主な活動内容は
以下のとおりです。

- ・4拠点にサポート窓口を準備し、地域密着による
サポートを実施
- ・MOTOMAN会総会によるパートナー関係強化
- ・4拠点でテクニカルフォーラムを実施。最新製品・
技術情報の共有を行いながら、地域連携活動を強化
- ・ロボット技術員人材育成を目的としたロボットスク
ール受講案内

SIパートナーの一覧はこちらから>>>

<https://www.e-mechatronics.com/support/sier/robot.html>



- ・会員情報の見える化(e-メカサイト、会員専用サイト
に会員名簿を掲載)

- ・モーションSI会との連携による情報交換

お客さまの自動化のお困りごとに対して、様々な得意
技術を持つ会員がいますので、MOTOMAN会 SI部会
へお気軽にご相談ください。



関西支店でのテクニカルフォーラムの様子

● お問い合わせ先：ロボット事業部 エンジニアリング部 応用技術課 TEL: 06-6480-8535

モーションSI会

モーションSI会は、当社および安川グループ企業が
製造・販売する電機製品、主にACサーボドライブやモー
ション(マシン)コントローラを活用した各種機器・設備の
効率的な設計・開発・生産の実現と推進を通じて、お客
さまの様々なご要望に柔軟に対応するSI(システムイン
テグレータ)の会です。現在39社の会員企業が日本各地
でSIとして活躍しています。

モーションSI会の主な活動内容は以下のとおりです。

- ・新製品・最新技術についての勉強会
- ・サーボ・コントローラテスト機を活用した技術支援
- ・会員企業が一堂に会するSI会総会
- ・MOTOMAN会SI部会との連携による情報交換

これらの活動を通じて、会員企業同士の技術交流や
スキルアップを図っています。お客さまの実現したいこと
に向けて、モーションSI会 会員企業との協業がいつでも

SIパートナーの一覧はこちらから>>>

<https://www.e-mechatronics.com/support/sier/motion.html>



東京支店でのモーションSI会総会の様子

可能ですので、是非お気軽にご相談ください。

また、適切なSI企業が見つからない場合は、モーション
SI会事務局までご連絡いただければ、最適なSI企業を
ご紹介いたします。

● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 応用技術課 TEL: 03-5402-4907

機械・設備の自動化を
検討中のお客さまへ

お客さまが実現したいことを
当社 SIパートナーと
協創し実現しませんか!

スクールのご案内

当社の製品を活用していただくために、
講座形式、e-ラーニング、YouTube動画教材など
各種教育コースを開催しています。



ロボットスクール

ロボットスクールでは、産業用ロボットの導入および運用に際し、作業従事者の安全確保と技術力向上を目的に、法令に基づく必須教育から応用力を養う実践的研修まで、体系的な教育プログラムを提供しています。

「特別教育コース」では、労働安全衛生法に基づき、産業用ロボットを扱う作業員に対する特別教育を実施しています。教示等特別教育では、ロボットの構造や安全機能、操作方法、教示作業の手順を学び、安全かつ正確な操作技術を習得します。検査等特別教育では、保守点検の基礎、安全確認の方法、異常時の対応など、トラブルを未然に防ぐ知識と技能が習得できます。

「スキルアップコース」では、教示等特別教育修了者を対象に、より高度な操作技術と応用力を養う実践的研修を行います。アーク溶接やハンドリング、人協働ロボット、MotoFit

/ MotoSight2Dなど、各分野に応じた専門技術を学び、現場での対応力を高めることができます。

「保守スキルアップコース」では、検査等特別教育修了者を対象に、基礎から応用までの内容を選択可能なメンテナンス教育、モータ交換やパラメータ設定等を学べる保守技能教育を通じて、トラブル対応力を強化し、安定稼働を支える技術力を育成します。

「オンサイトコース」では、講師が事業所や工場に訪問し、実機を用いた現場に即した教育を実施します。実際の作業環境に即した指導が可能で、複数名の同時受講にも柔軟に対応できます。

今後もロボットスクールは、実践的かつ高品質な教育を通じて、安全で効率的なロボット運用の推進に寄与し、産業界の持続的な発展に貢献してまいります。

それぞれのコースに、数多くのカリキュラムを用意しています。

特別教育コース

リモートコース

スキルアップコース

オンデマンド配信コース

保守スキルアップコース

その他コース

オンサイトコース



スクールの詳細はこちらから>>>

<https://www.e-mechatronics.com/support/school/robot/index.html>



● お問い合わせ先：スクール会場ごとに異なりますので、上記「スクールの詳細はこちらから」でご確認ください。

モーションコントロールスクール

当社はモーションコントロール製品についてより深くご理解いただくために、全国各地でサーボ、コントローラ、インバータに関する各種スクールを開催しております。定期開催のコースに加え、お客さまのご要望に応じて講習内容をカスタマイズできる「フリープラン」もご用意しております。

ご興味のある方は、是非お気軽にお問い合わせください。

スクールの詳細はこちらから>>>

<https://www.e-mechatronics.com/support/school/motion/index.html>



学習製品	開催コース	学べるスキル	コースの特長
サーボ	サーボドライブ 基礎	サーボの立上げ、調整など	サーボの実習機を使いながら初心者にも分かりやすく学習
	サーボドライブ 保守	サーボのトラブルシューティング、更新など	設備の保守担当者向けの学習
コントローラ	MP3000シリーズ 設計基礎	特長、構成、立上げ、プログラムなど	MPコントローラ実習機を使いながらプログラミングなど基礎を学習
	MP3000シリーズ 設計応用	モーション制御について	モーション制御について詳しく学習
	MP3000シリーズ 設計保守	コントローラのメンテナンスやツールの使い方など	設備の保守担当者向けの学習
	MPX1310 フリープラン	MPX1310の新機能やプログラミングなど	MPXコントローラの新機能を実機で学習
インバータ	YRM + YCP フリープラン	データ収集やアドオンソフトの機能など	フリープランコースでお客さまのご要望によって学習内容を設定可能
	インバータ 基礎	インバータドライブの基礎やトラブルシューティング	インバータ実習機を使いながら基礎について学習
	インバータフリープラン	お客さまのアプリケーションに沿った内容	フリープランコースでお客さまのご要望によって学習内容を設定可能

● お問い合わせ先：サーボ・コントローラ製品コース TEL: 04-2962-1042 / インバータ製品コース TEL: 0930-25-2548

スクール会場のご案内

会場名	所在地	ロボット	サーボ コントローラ	インバータ
北海道会場	北海道苫小牧市元中野町3丁目6番27号 安川電機 北海等出張所	●		
石川会場	石川県金沢市広岡3丁目3番11号 JR金沢駅西第四NKビル 安川電機 北陸営業所		●	
埼玉大宮会場	埼玉県さいたま市北区宮原町2-77-3 安川電機 関東ロボットセンタ	●		
埼玉入間会場	埼玉県入間市上藤沢480番地 安川電機 入間事業所 ソリューションセンタ	●	●	●
愛知会場	愛知県みよし市根浦町2丁目3番地1 安川電機 中部支店	●	●	
四日市会場	三重県三重郡川越町大字豊田932番地3 安川電機 四日市サービス所	●		
関西会場	兵庫県尼崎市西長洲町1丁目1番15号 安川電機 関西支店	●	●	●
福岡会場	福岡県北九州市小倉北区大手町12-1 安川電機 小倉事業所	●	●	●

e-ラーニング

講座形式のスクールに以外にも、eラーニングを用意しています。
当社の「e-メカサイト」内のスクールページからご利用いただけます。
※ご利用にあたっては、「e-メカサイト」への会員登録・ログインが必要です。

eラーニングの詳細はこちらから>>>
https://www.e-mechatronics.com/support/school/elearning/index.html



学習製品	開催コース	コースの概要
サーボ	サーボ入門	電気の予備知識がなくても、電気サーボの基本的な考え方を学習することができます
	サーボドライブセットアップ入門	サーボドライブの基本的なセットアップ方法や、支援ツールSigmaWin+ の操作について学習します
	ACサーボドライブΣ-Xシリーズ基礎オンラインセミナー動画	1日目：サーボの基礎とΣ-Xの紹介 2日目：サーボのセットアップと予防保全 3日目：サーボの応答性と調整
	ACサーボドライブΣ-Xシリーズ基礎オンラインセミナー動画	1日目：デモ機を使ったΣ-Xのサーボ調整機能の紹介 2日目：デモ機を使った負荷変動に対する安定性向上機能の紹介
	ACサーボドライブΣ-7/Xシリーズオンラインセミナー動画	1日目：サーボドライブΣ-X FT仕様を紹介 2日目：コントローラ内蔵ACサーボドライブΣ-7Cの紹介
コントローラ	MP3300入門	P3300の基本機能、エンジニアリングツールMPE720の操作の基本、モーション制御の基本など学習
	MP3300 機械を動かそう	直交3軸の機械を例に、機械の仕様に合わせたMP3300の使い方、ラダープログラム、モーションプログラム開発の基本を学習
	MP3300 オンラインセミナー	1日目：MP3000基本操作と立上げ手順 2日目：ラダープログラムによるモーション制御 3日目：モーションプログラム
	MP3300 オンラインセミナー	1日目：デモ機を使ったMP3000によるデータ収集の紹介 2日目：デモ機を使ったMP3000による同期制御の紹介
	MP3300 オンラインセミナー	1日目：マシンコントローラMP3000シリーズ アプリケーションパッケージ 2日目：マシンコントローラMP3300 各種オープンネットワーク対応
インバータ	プログラミングツール MPE720 オンラインセミナー	MPコントローラのシミュレーション機能紹介
	インバータ 入門	インバータの基礎知識と、安川インバータの概要、特長
	U1000	マトリクスコンバータU1000の概要と、特長
	GA500	安川電機のソリューションコンセプト「i ³ -Mechatronics」の概要と安川インバータGA500 小型高機能タイプの概要、特長
	DriveworksEZ(Ver.10)	安川インバータ用ビジュアルプログラミングツール DriveWorksEZの基本操作
ロボット	人協働ロボットの使い方の基礎 (MOTOMAN-HC10DT/YRC1000micro, スマートペンダント付き)	ロボットがお手元に到着してからの各種段取り、ロボット操作や障害復旧に必須となる基本的スキル、ロボットセルおよびその周辺で安全に使用する方法、教示ポイントの設定・変更を行う手順、一般的な手先ツールの操作手順など 全般的な基礎知識を習得
	人協働ロボットの使い方の基礎 (MOTOMAN-HC10DTP/YRC1000micro+標準プログラミングペンダント付き)	
	スマートシリーズの使い方の基礎 (MOTOMAN-GPシリーズ小型ロボット/YRC1000またはYRC1000micro+スマートペンダント付き)	

YouTube 動画教材

YouTube「安川電機 e-メカサイトチャンネル」にも、最新の動画教材を掲載しています。
こちらでは、短時間でテーマを絞った学習が可能です。

YouTube「安川電機 e-メカサイトチャンネル」はこちらから>>>

https://www.youtube.com/user/YaskawaEMECHA



※下記以外にも数多くの動画教材、展示会動画などをご覧いただけます。

Σ-Xサーボ調整レス機能のご紹介
サーボ調整不要で装置を立ち上げる方法

Σ-Xサーボ調整レス機能のご紹介
サーボ調整不要で装置を立ち上げる方法

Σ-Xサーボを使用して装置や機構を動作させるときに、通常必要であるサーボ調整を行うことなく、サーボが自動的に装置や機構の状態を把握し、最適なサーボ制御を行うことができます。この調整レス機能について、デモ機とWindowsソフトウェアを使用しながら簡単に説明します。

2. 調整レス機能 Σ-X

機能範囲を最大100倍の負荷に拡大。

Σ-Xの「調整レス機能」は、安定制御できる最大慣性モーメント比が最大100倍に向上(従来のΣ-7は最大30倍)しました。

MPX1310仕様：外観・外形寸法

MPX1312 MPX1312-20L32 ZEYRM-MPX01230L32-1 DC24V入力 (非絶縁)

H:130mm D:130mm W:70mm

RLYOUTコネクタ 電源コネクタ Ethernetコネクタ Ethernet, EtherNet/IP コネクタ MECHATROLINK-4/Ⅲ

マシンコントローラ MPX1310のご紹介

MPX1310はMECHATROLINK-4を2回線内蔵し、最大で128局のサーボなどを制御することができます。CPUにはマルチコアが採用され、新規に追加された高速スキャンを、二つ目のコアで並列実行することができます。

MPE720のシミュレーション機能のご紹介

プログラム開発作業を大幅に改善！

プログラミングツール MPE720のシミュレーション機能のご紹介

マシンコントローラ MPXシリーズ、MPシリーズのプログラミングツール MPE720が新しくシミュレーション機能に対応しました。プログラム開発の作業をオフラインでデバッグが可能になることにより装置設計の段階でデバッグを行うことが可能になり開発効率が向上しました。

フロントローディングの活用例

シミュレーション機能を活用すると、実機を準備することなく、1台のPC上でアプリケーションの開発、検証を行うことができます。

MP3000シリーズと YRC1000micro(YRC1000)の通信接続(Ethernet通信) MPコントローラとロボットをEthernet通信で接続するには？

MP3300とYRC1000microを高速イーサネットサーバー通信(Ethernet)で通信接続する例をご紹介します。YRC1000とも同様に接続することが可能です。

MPコントローラとロボットをEthernet通信で接続するには？

※本記事中に記載された名称は、各社の商標または登録商標の場合があります。

重量化・密集化する自動車製造工程に対応する新型多用途適用型ロボット MOTOMAN-GP280L/GP360を発売

電動化技術が急速に進化しつつある自動車業界では、プラグインハイブリッド車(PHEV)や電気自動車(BEV)の普及に向けて、走行距離の確保や、充電頻度の低減のため二次電池の大容量化・高重量化が進むと予想されます。

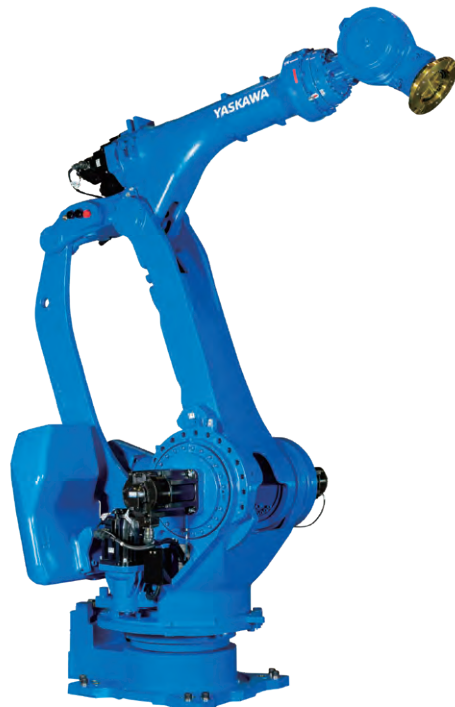
車載二次電池製造工程における電池モジュール・パックの搬送・組立用途の自動化ニーズは高く、特に「人」が介在することでクリーン度の問題や感電リスクなどの対策が不可欠であることから、ロボット活用による自動化は更に加速することが見込まれます。また、自動車ボディー部品のマテハンやスポット溶接

などの自動車製造現場では、設置スペースを最小化するために密集したレイアウトが求められています。

そこで当社は、重量化・密集化する自動車製造工程に対応するロボットとして、MOTOMAN-GP280L/GP360(可搬質量280kg、最大リーチ3114mm/可搬質量360kg、最大リーチ2832mm)を製品化し、5月14日から販売を開始しました。本製品はフットプリントを最大限抑えながら、高可搬、ロングリーチを特長としており、従来の機種では適用が困難だった現場への活用が可能となります。



MOTOMAN-GP280L



MOTOMAN-GP360

主な用途

- 車載二次電池製造工程(マテハン、組立て)
- 自動車ボディー部品(マテハン、SPR/FDS等の機械接合)
- スポット溶接

高可搬

300kg級の高可搬により、電池モジュール・パックの搬送および組立てや、車体フレームの搬送に最適で、重量物を扱う製造工程において効率的かつ安全な現場を実現します。

ロングリーチ

3,000mm級のリーチにより大物ワークの接合・組立てへの対応が可能です。

当社共通のロボットコントローラを適用

ロボットの制御には、当社のロボットコントローラYRC1000を採用しています。世界最小クラスのため設置スペースの縮小が可能で、電源電圧の違う海外仕様でも共通のサイズとなっています。ロボット教示時に使用するプログラミングペンダントは操作性を向上させるとともに、軽量化を実現しました。

● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 製品管理課 TEL：093-645-8134

モーションコントローラなしで高精度・高速位置決めが可能 ACサーボドライブΣ-Xシリーズ FT79仕様を発売

当社は2021年3月に「進化を加速するモーション×デジタルデータソリューション」をコンセプトにACサーボドライブΣ-X(シグマ・テン)シリーズを製品化しました。一方で、様々な市場からのニーズや高性能化・高機能化の要望への対応が強く求められてきています。これらのニーズ・要望に対応するため、Σ-Xシリーズでは装置やアプリケーションに特化した機能を搭載したFT仕様をラインアップしています。

この度、Σ-7シリーズ FT仕様のFT79(割出し用途機能)の後継として、Σ-XS FT79を製品化し、6月6日から販売を開始しました。FT79仕様は位置決め機能(INDEXER機能)を内蔵しており、位置や速度を設定するだけで簡単にモーション制御が可能です。動作に必要なI/O信号とデータのトレースが可能となり、現場での立上げ(デバッグ)時間短縮が見込めます。

主な用途

- Point to Point 位置決め
- 定点位置決め
- ステーション位置決め(割出し)
- 定寸送り

モーションコントローラなしで 高精度・高速位置決めが可能

動作パターンの設定は、プログラムテーブルに位置・速度データなどを入力するだけです。エンジニアリングツールSigmaWin+の活用で、簡単かつ効率的に動作パターンの設定・編集ができます。

※ 位置決めに便利な機能(ZONE信号出力、JOG速度テーブル運転、原点復帰など)も搭載しています。

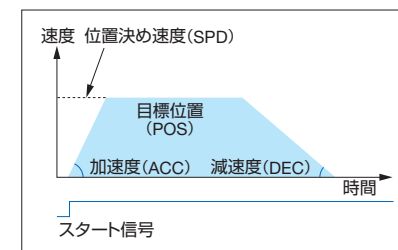
※ 上位コントローラからスタート指令を受け取り、位置決め運転を開始します。

■ プログラミングテーブル設定例

PGMSTEP	POS	SPD	RDST	RSPD	ACC	DEC	EVENT	LOOP	NEXT
0	I+400000	2000	500000	1000	200	100	T5000	1	1
1	I+100000	1000	200000	2000	100	50	ITO	1	END
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
n	I+400000	2000	500000	1000	100	50	IT100	1	n+1
n+1	I+100000	1000	200000	2000	⋮	⋮	NT0	1	END
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
254	I+400000	2000	500000	1000	100	50	SEL3T200	1	127
255	I+100000	1000	200000	2000	100	50	DT0	1	END

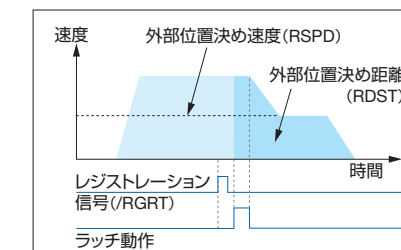
■ POS/SPD/ACC/DEC命令

目標位置、位置決め速度、加速度、減速度の設定により動作パターンを作成します。



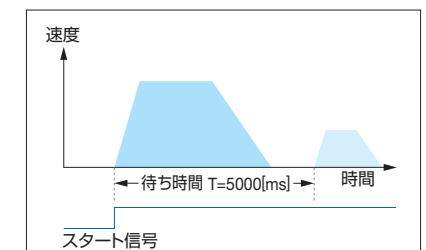
■ RDST/RSPD命令

外部信号による位置決め(レジストレーション)が可能です。



■ EVENT命令

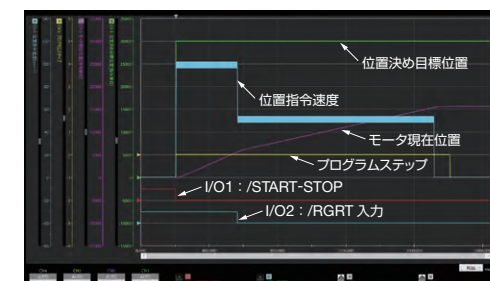
プログラムステップの完了を判定する条件を設定します。



INDEXER機能の動作に必要なI/O信号,データがトレース可能に!

■ レジストレーション位置決め

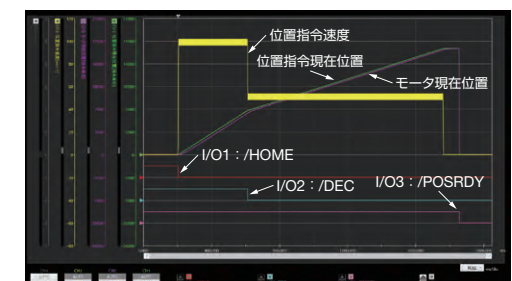
/RGRT入力を受け、元の位置決め目標とは異なる位置での停止。



<SigmaWin+ トレース操作画面イメージ>

■ 原点復帰シーケンス

/HOME、/DEC信号で原点復帰動作を開始し、原点復帰完了後/POSRDY信号を出力。



<SigmaWin+ トレース操作画面イメージ>

● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 事業企画課 TEL：04-2962-5470

BEYOND Motion Control. – 制御の想像を超えた、その先へ – MECHATROLINK協会 2025年度総会開催報告

2025年6月5日(木)、MECHATROLINK協会(MMA)の2025年度総会が、秋葉原のUDXカンファレンス(東京都千代田区)にて開催されました。

総会は、上山幹事長(当社 モーションコントロール事業部長)による開会の挨拶で幕を開けました。続いて、MMA事務局代表から2024年度の活動報告と、2025年度の活動計画が発表されました。

前半の部最後は、当社を含む4社がMECHATROLINK対応の新製品について発表を行いました。会場後方には、実機展示コーナーが設けられ、来場者が製品を直接ご覧いただける機会となりました。

後半の部では二つの講演が行われました。基調講演では、「もう逃げられない、欧州サイバーレジリエンス法がもたらす産業分野のサイバーセキュリティ対策」と題して、Moxa Japan合同会社様からMECHATROLINK対応製品を含む、最新のサイバーセキュリティ対策についてご紹介がありました。続いて特別講演では、「ロボティクスと物流自動化におけるAIの応用」



と題してRapyuta Robotics株式会社様から、ロボティクス分野におけるAI活用の最新動向や取り組みなどのお話をいただきました。

総会終了後には懇親会が開催され、参加者が交流を深める和やかなひとときとなりました。今後もメンバー企業の皆さまとともに、MECHATROLINKの普及活動に尽力してまいります。



MECHATROLINK協会とは?

安川電機が開発・製品化したMECHATROLINKを世界に普及させるために、2003年にオープン化し発足された組織です。製品開発メンバーおよびユーザーで構成されています。安川電機を含む、幹事会社8社を中心に運営されており、約3,700社の会員企業が参画しています。

MECHATROLINK協会 総会

1	MECHATROLINK協会 幹事長挨拶	株式会社 安川電機 モーションコントロール事業部長	上山 顕治
2	MECHATROLINK協会 活動報告・活動計画	MECHATROLINK協会 事務局代表	平沼 麻美子
3	新製品紹介	MECHATROLINK協会 会員 神港テクノス株式会社 株式会社安川電機 三明電子産業株式会社 フエニックス・コンタクト株式会社	
4	基調講演： 「もう逃げられない、欧州サイバーレジリエンス法 がもたらす産業分野のサイバーセキュリティ対策」	Moxa Japan合同会社 プロダクトマーケティング部 部長	長澤 宣和様
5	特別講演： 「ロボティクスと物流自動化におけるAIの応用」	Rapyuta Robotics株式会社 VP of Product	バスデヴァン ブラビーンクマル様

懇親会

立食パーティ・歓談

総会資料は、協会ウェブサイトよりダウンロードできます。
ダウンロードには会員登録およびログインが必要です。

https://www.mechatrolink.org/cert/dev/jp/presentation/mmacongress_jp.pdf



● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 ソリューション戦略部 パートナ拡大推進課 TEL: 04-2962-6359

世界最大級の食品製造総合展 「FOOMA JAPAN 2025」出展報告

6月10日(火)～13日(金)の4日間、東京ビッグサイトで開催された「FOOMA JAPAN 2025」に出展しました。当社ブースでは、安川グループのコア技術を結集したソリューションを展示し、当社が目指すサステナブルな社会の実現に向けた取り組みをご紹介します。

自律性を備えたロボット「MOTOMAN NEXT」、食品仕様

自動化+データ活用ソリューション

自律ロボット「MOTOMAN NEXT」の展示では、人がタブレットに描画した軌跡をロボットが自動生成して稼働するティーチングレス、ロボット自身が周囲の環境を判断して作業を完遂できるという二つの特長を、オムライスにケチャップをトッピングする作業に見立てたデモンストレーションでご紹介しました。

また、衛生面の確保、異物混入リスク低減に貢献する食品仕様ロボット「MOTOMAN-GP8」による蓋閉め自動化セルでは、6軸ロボットの特長を生かし、柔軟な動きで角度を調整しながら蓋閉めを実施。ロボットハンドのトルクや位置データを活用してロボットが全数検査する仕組みもご覧いただきました。このデモ機は、安川グループの(株)アイキューブデジタルのソリューションである生産ライン・装置内の稼働情報を収集する「Y's-SF Equip」とリアルタイムでデータ連携して展示しました。さらに、YRMコントローラとYASKAWA Cockpitを活用し、各工程のデータを連携し時間軸の合ったデータを分析することで、当社のソリューションコンセプト「i³-Mechatronics(アイキューブ メカトロニクス)」の事例として展示会場でご体感いただきました。



ロボット「MOTOMAN-GP8」を用いた自動化セル、設備稼働情報を収集し製造効率を支援するシステム「Y's-SF Equip」、植物工場システム「アグリネ」など、実機を見ながら皆さまから様々な相談や質問が寄せられ、関心の高まりを実感いたしました。今後とも、皆さまの課題に寄り添うソリューションを提供してまいります。

完全人工光型 植物工場システム「アグリネ」

気候変動の影響などで食の安定供給への影響が高まる中、完全人工光型植物工場システム「アグリネ」の注目も高まっています。安川グループの(株)FAMS本社に設置した検証機による実証風景を動画でもご紹介し、完全自動化を可能にしたコマ&レール方式を模型で説明することでアグリネの特長や導入のメリットをお伝えしました。検証機では、市場ニーズに合わせた野菜の栽培検証を拡大しています。



i³-Mechatronicsを実現するコンポーネント

当社の製品群は、食品製造工程の効率化や高精度化、省エネに貢献しています。会場では、装置の高精度化に貢献するマシンコントローラ「MPX1310」、ACサーボドライブ「Σ-Xシリーズ」、省エネに貢献する安川インバータ「GA500」と世界最高クラスのモータ効率IE5を誇る「エコPMモータ フラットタイプ」をご紹介しました。

- ※「Y's-SF Equip」は(株)アイキューブデジタルの製品です。
- ※「アグリネ」は(株)FAMSの製品です。

当社の製品・技術情報サイトでは、本記事で紹介した展示デモ以外の出展製品も掲載しています。
是非ご覧ください。

<https://www.e-mechatronics.com/exh/fooma2025/>



● お問い合わせ先：営業本部 食品営業部 TEL: 03-5402-4579

「ワールドロボットサミット」イベントが大阪・関西万博で開催 「未来づくりロボットWeek」出展報告

7月13日(日)から19日(土)の7日間、当社がグローバルスポンサーとして協賛する「World Robot Summit(WRS)」でのイベント「未来づくりロボットWeek」が大阪・関西万博のメッセ「WASSE」で開催されました。

「未来づくりロボットWeek」は“現在・進化・未来”を網羅する

3つのテーマゾーンで「ロボットとつくる共創社会」を体験・体感でき、特に学生など若い世代が未来の技術に触れることで、自身のキャリアや学問の方向性に新たな視点を得ることも目指したイベントです。当社は「人が働く現場にロボットは適応できるのか?」をテーマにしたエリアでロボットの実演を行いました。



いちご選果ロボット

いちごを画像認識し、傷みを判別するとともに、形と重さをAIで推定し、適正な組合せでバック詰めができるロボットです。労働不足の解消や作業軽減を実現し、農業の新たな事業モデルを描くことができるロボット技術として期待されています。

会場では人とロボットのバック詰め競争も行いました。大きさや重さが異なるいちごを均等に見栄え良くバック詰めするのは意外と熟練の技が必要で、参加された皆さんはロボットの正確さに驚いた様子でした。



食器の下膳作業ロボット

学食などをイメージした食堂で、トレーに載せられた食器を片付けるロボットです。食べ残しがあれば捨ててから水に漬けるなど、ランダムに置かれた状態を自ら判断し、実行できます。これを実現できたのは当社のMOTOMAN NEXTだからこそです。

MOTOMAN NEXTは産業用ロボットでは初めて、周りの環境に適応し、判断・計画しながら、最適な方法で作業を完結する「自律性」を持ったロボットです。その活用により、物流や農業といった分野での自動化が加速し、労働力不足解消などに貢献することが期待されています。

● お問い合わせ先：コーポレートブランディング本部 広報・IR部 広報推進課 TEL: 093-588-3076



春のトラックシーズン、開幕！

春のトラックシーズンが幕を開け、選手たちは各種主要大会に臨みました。

中でも存在感を示したのは入社3年目の漆畑瑠人選手です。昨シーズンにはハーフマラソンで安川電機陸上部歴代最高記録(以下、安川記録)をマークするなどスピードに磨きをかけてきましたが、今季はその成長が更に加速。自身シーズン初戦となった第33回金栗記念選抜陸上中長距離大会5000mで13分36秒10の好記録をマーク。勢いそのままに5月の第36回ゴールデンゲームズinのべおか5000mでは13分32秒71を記録し、20年ぶりに5000mの安川記録を更新する快走を見せました。

今季から主将を務める古賀淳紫選手も4月の第59回織田幹雄記念国際陸上大会5000mで13分38秒71(自己新記録)の記録をマークし、チームをけん引するベテランの意地を見せました。また副主将を務める合田棕選手が第109回日本陸上競技選手権大会10000mに出場しました。結果は28分53秒53の15位と悔しさの残るレースとなりましたが国内トップレベルのレースに挑んだ経験を、今後の糧として更なる高みを目指してチャレンジします。

チームの中堅として活躍する佐藤俊輔選手も今期初戦の九州実業団記録会で13分54秒12の記録をマークし5000mの自己ベストを更新するなど、各々が確かな手応えをつかんでいます。

今後は秋の駅伝シーズンに向け走り込みを行う強化期間へと移行します。更にレベルアップを図っていきますので、引き続き選手の応援、よろしくお願いします。



5000mで安川電機歴代最高記録を更新した漆畑瑠人選手



九州実業団選手権5000mで2位に入った佐藤俊輔選手



日本選手権10000mに出場した合田棕選手

選手コメント

漆畑 瑠人

いつも陸上部へのご支援いただきありがとうございます。
春のトラックシーズンでは1500mと5000mで安川電機新記録を樹立することができました。
2025年に入り自分自身の成長を感じられる結果を出すことができとても嬉しく思います。
今後も更に上を目指していきますので、応援よろしくお願いします。



まだ、人にしかできないと

洗浄前の医療器具には、命を支える現場の緊張と責任が宿っています。形や状態の異なる器具が混在し、洗浄装置への投入と取出しを優先しながら、台間で仕分けを行う。状況は常に変化し、柔軟な判断が求められる。だからこそ、人の手に委ねられてきた仕事です。自律ロボット「MOTOMAN NEXT」は、器具の種類や状態を見分け、仕分けから洗浄装置への投入・取出しまでを担います。人の負担を軽減し、感染リスクとヒューマンエラーを防ぐ。それは、医療現場に“もう一つの信頼できる手”を加えるということ。人にしかできないと思われていた領域へ、私たちはAIヒロボテイクスで挑み続けます。



こ と 思っていた領域へ

MOTOMAN NEXT

ロボテイクスとの融合により、AIは「考える」だけでなく、「動き」「感じ」「適応する」存在へと進化を遂げています。MOTOMAN NEXT は、AIヒロボット制御技術が融合した、革新的なソリューションを協創するオープンプラットフォームです。AIやセンサーと連携した自律制御ユニットにより、環境変化をリアルタイムで認識・判断。従来は人の判断や経験に頼っていた工程においても、安定した自動化が可能となり、生産性と柔軟性の両立を実現します。



詳しくは
MOTOMAN NEXT
特設サイトへ

